

令和2年3月31日

令和元年度第4回四條畷市子ども・子育て会議（書面開催結果）

1 意見提出用紙の提出状況

書面開催にあたり配布した意見提出用紙の提出状況は下表のとおりでした。

提出（出席）	小寺委員（委員長）、河原委員、市林委員、西岡委員、原委員、大艸委員、小林委員、福井委員、山田委員
未提出（欠席）	柏原委員（副委員長）、福地委員、森本委員

過半数の委員から意見提出用紙の提出がありましたので、四條畷市子ども・子育て会議規則第3条第2項の規定により、会議が成立することをご報告します。

なお、柏原副委員長におかれては、期限後の提出であったため、参考意見として掲載させていただいています。

2 次第4 「忍ヶ丘愛育園の利用定員の変更について」、次第5 「畷すずらん保育園の利用定員の設定について」について

委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

（小寺委員長）

忍ヶ丘保育園の利用定員の変更と畷すずらん保育園の認定こども園への新規申請については問題ないと判断します。

（河原委員）

定員数の変更により、今までとどう違うかが想定されるのか、それに対応していく配慮としてどんな事が挙げられるのか、利用するかもしれない側としては教えて欲しい気がします。

【回答（子ども政策課）】

ご意見ありがとうございます。

忍ヶ丘愛育園については、連携する小規模保育園の卒園児の受け入れ分を含めた定員の増加変更で、小規模保育事業の利用者の安定した保育が確保されるとともに、プラスアルファの定員増加については、より多くの保育需要に応えることができます。なお、定員増加にあたっては、指導計画に基づいた保育を行うとともに、2室を活用したクラス運営を行うといった配慮をなされると聞き及んでおります。

暇すずらん保育園については、認定こども園への移行に伴い、2号定員は減となるものの、1号定員がその分増となります。認定こども園は、保護者の就労等の有無やその変化等に関わらず、教育・保育を一体的に行うため、教育・保育のニーズに応えることができるとともに、多様な生活環境の子どもたちが一緒に過ごすことで、子どもたちの視野が広がることを期待できます。

(市林委員)

愛育園の小規模保育事業の卒園生の受け入れのための、主に2号定員増について。2歳以下の小さなお子さんを小規模保育所で保育される場所を新しく作って下さったための、今回の定員増だと思いますので、増員よろしいかと思えます。

暇すずらん保育園が子ども園への移行により、定員の変更ですが、こども園への移行により、働くお母さんだけでなく、ご自分で保育されているご家庭のお子さんも同じ園に通うようになり、色んな立場や環境の家庭や子どもが交流する事によって、多様な価値観の中で、共に助け合い、四條暇で子育てをしよう！となることへの期待を込めて、よろしいことだと思います。

(西岡委員)

特にありません。

(原委員)

特にありません。

(大艸委員)

異議ございません。

(小林委員)

次第4においては、保育参観・園内見学等の機会があり、きめ細かな保育がされている様子でした。保護者との情報共有が密にされているとのこと（通園者保護者談）

次第5においては、保育の様子等の機会がありませんでしたが、上記同様の保育がされていると思われます。

両園共に、就業されている家庭が多く待機児童解消の受け皿として充実した保育がされるよう願っています。

(福井委員)

一時保育、時間外保育等、子育てされているお母さんにとって、利用定員増はいい事だと思います。

(山田委員)

特にありません。

【参考意見】

(柏原副委員長)

- ・忍ヶ丘愛育園の利用定員の変更：異議なし
卒園児童の受け入れは重要な取り組みです。
- ・嘸すずらん保育園の利用定員の設定：異議なし
認定こども園移行の為に2号定員減はいたし方ないです。

3 その他について

その他、委員の皆様から次のとおりご意見をいただきました。

(小寺委員長)

第2期四條畷市子ども・子育て支援事業計画は以前に比べ、読みやすく市民にやさしい内容となっています。

(河原委員)

ネウボラなわて

出産後の検診が1ヶ月検診。私は退院後、それまでの期間がすごく不安が大きかったです。産院では毎回授乳のたび母乳を飲む前と飲んだ後、体重を測定し、不足分を足すなどきっちりフォローされていたのが、家では本当に母乳が足りているのか、粉ミルクなど足した方が良いのか悩みました。他にも衣類の洗剤はどんな物が良いのか、そんなに気にしなくても大丈夫なのか……。ちょっとした分からない事が多くて不安になったものでした。なので、1ヶ月検診が待ち遠しかったのを覚えています。ネウボラなわてでも産後1ヶ月までにちょっとした相談が気軽にできるような訪問などあれば良いなあと思います。(自分から電話をかけて相談となるとハードルが上がるので)

【回答（保健センター）】

四條畷市では、こんにちは赤ちゃん訪問として、生後1～2か月までに専門職による訪問、4か月健診までに民生委員による訪問を実施しております。出産後に市役所で記載していただく母子保健連絡票をもとに全員に連絡をいれております。母子保健連絡票に相談事項を記載いただくか、早急の訪問を希望と記載もしくは窓口で伝えていただければ、できるだけ早く連絡させていただきます。

(市林委員)

新型コロナウイルス対策で、市内の子ども向けの施設が休所されている状況が続いています。子どもたちが家庭内で、テレビやゲームやスマホなど漬けになっていると思います。今の状況が終わった後に、中毒の様になって、元の生活に戻れない子が出てくるのではないかと危惧しています。

四條畷市として、閉所だけでなく、子どもたちの為に安全な範囲で、外遊びや自然とのふれあい、或いは読書などを推進して頂きたいです。

例えば、図書館では電話で本の貸出相談にのって、本を取りに来てもらうだけの貸出をすとか、テニスコートの個人利用、野外活動センターの時間と利用人数を区切ったの利用など。

【回答（学校教育課）】

ご意見ありがとうございます。新型コロナウイルス対策による長期にわたる臨時休業に伴い、児童生徒はもとより、保護者皆様にもご心配をおかけしていることと拝察いたします。教育委員会といたしましても、ご指摘の点に関しては、懸念するところがございます。

現在、教育委員会の取組みとして、市役所ホームページ上に臨時休業中の過ごし方や家庭学習リーフレットの他、学習ツールや外部サイトの紹介等を掲載するなどし、啓発に努めているところでございます。

今後は、感染状況に併せ、国や大阪府の方針を注視しつつ、学校とも連携を図りながら、状況に応じ、時宜を得た取組みを進めてまいります。

（西岡委員）

新型コロナへの対策で大変な中、ご準備等ありがとうございます。特に気になることはありません。宜しく願いいたします。

（原委員）

特にありません。

（大艸委員）

特にございません。

（小林委員）

年々、子育て政策が充実されてきているように感じられます。子育て中の保護者からは不十分だと感じている事業もあると思います。地域で子育てサロンを開催していますが、例をあげると慢性の病気がある子どもだけでも、インフルエンザの予防注射の助成があると助かると聞いております。高額なのでうけることが出来ないと言われていました。

近隣市では、寝屋川市が助成があると聞いております。

【回答（保健センター）】

乳幼児に対してのインフルエンザの予防接種については、乳幼児が予防接種をすることでインフルエンザの発病又は発病後の重症化の予防に関しては、一定の効果があるとされていますが、本市では、任意接種であるため公費助成を行っておりません。なお、本市においては、平成29年度に市民アンケートなどを踏まえて、包括的な子育て支援施策についての検討を重ねたうえで、子ども・子育て支援においてあらゆる分野を総合的・一体的に推進する子ども・子育て支援事業計画に掲げた

事業を優先的に取り組んでまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

(山田委員)

4月から啜小学校ふれあい教室の利用人数、発達障がいの子どもの数も多くなっています。大変だと思いますが、よろしくお願い致します。

【参考意見】

(柏原副委員長)

1つ1つの事案にいつも丁寧に取り組まれています。総合的な子ども子育てがなされていると思います。

切れ間ない子どもの発達保障がより充実されますように。

4 令和2年度の開催日程について

令和2年度の子ども・子育て会議の開催につきましては、8月上旬と翌年3月上旬を予定しております。会議の日程が近づいてまいりましたら、改めてご連絡をさせていただきます。令和2年度につきましても引き続きよろしくお願いいたします。